



2027年度標語 危ないぞ、言える勇気と、聞く心

10月度標語 安全予測はAIまかせ？ 現場を守るは私の五感

2027年度UAゼンセン安全衛生活動について

2026年度は加盟組合において労働死亡災害が発生しました。UAゼンセンが進める安全衛生活動の目的は、加盟組合のすべての職場において安全衛生水準が向上し、職場のすべての労働者が笑顔とやりがいをもって働くことのできる、安全で健康な職場環境を実現すること、そのために、労働組合が中心となって安全衛生活動を進めることができるよう支援することです。

労働安全衛生の究極の目標である「ゼロ災害・ゼロ疾病」を実現するためには、重篤な災害の減少と撲滅、とりわけ、一度発生すれば取り返しがつかないこととなる労働死亡災害の撲滅は必達すべき目標です。また、近年増加傾向にある精神障害による長期休業者数(30日以上)を減少させることも重要です。2027年度はそこにいたるステップとして具体的な目標を定め取り組むこととし、以下の安全衛生活動実施計画を策定しました。

加盟組合におきましては、職場における安全衛生活動へ主体的に取り組むとともに、UAゼンセンの実施する安全衛生の諸活動へも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。詳細はUAゼンセンメンバーズサイトをご覧ください。

<https://members.uazensen.jp/visitor/honbu/index.cgi?i=2&j=18&id=1694470068>

2027年度目標

(1)50人未満の事業場において、安全衛生委員会を設置している組合の割合を70%以上にする。

そのために、10人以上50人未満の事業場について取り組みを強化する。

※50人未満の事業場では安全衛生委員会の設置の法的義務はないが、一般的に事業場規模が小さいほど労働災害の発生件数が多い傾向にあるため。

※労働環境総点検チェックリストの結果によると、事業場規模50人未満の回答組合(103組合)の52.3%で設置済。

(2)安全衛生委員会に組合が推薦する委員が参画している組合の割合を100%にする。

そのために、委員会設置義務のある50人以上の事業場について取り組みを強化する。

※安全衛生委員会の委員の半数については、労働組合を代表する者の推薦に基づき指名しなければならない(労働安全衛生法第17条第4項)。

※労働環境総点検チェックリストの結果によると、回答組合(834組合)の80.1%で参画済。50人以上の事業場の回答組合(731組合)の86.2%で参画済み。



本部の取り組み

- 1)安全衛生活動のPDCAサイクルの確立と推進
- 2)参加型職場改善運動の展開の検討
- 3)加盟組合の安全衛生活動の点検・調査
 - ・労働環境総点検運動、労働条件実態統一調査
- 4)安全衛生活動を担う人材育成
 - ・労働条件安全衛生講座
 - ・安全衛生研修会(都道府県支部との連携)
 - ・安全衛生担当者学習会の開催(2回)など
- 5)加盟組合の活動支援と意識啓発を促す活動
 - ・ホームページでの情報発信(安全衛生トピックなど)
 - ・メンバーズページでの情報発信(労災年報、労働安全衛生活動の手引きなど)
- 6)重大災害発生時の報告と労災事故再発防止のための現場視察の実施
- 7)法を上回る労働災害補償の取り組み(労働条件闘争)
- 8)労働安全衛生に関する政策制度要求

部門・都道府県支部の取り組み

- 1)安全衛生活動に関する情報共有の定例化、安全衛生交流会の開催
- 2)情報発信
- 3)労災事故発生時などへの対応
- 4)加盟組合の安全衛生活動の把握と支援

加盟組合の取り組み

- 1)UAゼンセンの安全衛生活動への参加と連携
- 2)労災事故発生時などへの対応
- 3)安全衛生活動の基本事項への取り組み
 - ・労働組合組織内の安全衛生推進体制づくり
 - ・企業の安全衛生活動への参加など
- 4)法を上回る労働災害補償の取り組み(労働条件闘争)

2027年度 安全衛生標語

UAゼンセンでは、労働環境総点検運動の一環として、安全衛生を最優先する職場文化および職場風土を築き上げ、快適で働きやすい職場環境づくりを呼びかける標語を募集し、表彰しています。本年も多くのご応募をいただきありがとうございました。

表彰	作品	氏名	単組・支部
👑 最優秀賞	危ないぞ 言える勇気と 聞く心	上田 英良さん	ユニチカユニオン 垂井支部
👑 優秀賞	見過ごさない 仲間の変化と 危険の芽	矢野 真威さん	旭化成労働組合 延岡支部
	安全は 当たり前じゃない つくるもの	免田 聖弥さん	全イズミ労働組合 サンビアン支部
👑 佳作	無理をせず 伝える勇気と 聞くゆとり	江川 正洋さん	ダイエーユニオン 松原店支部
	タイパより 安全優先 命優先	清水 祐樹さん	日医工岐阜工場労働組合
	「気をつけて」その一言が 今日明日も「ただいま」へ	森田 裕基さん	ブライトンホテルズユニオン
	安全予測はAIまかせ？ 現場を守るは私の五感	表田 浩幸さん	イオンリテールワークスユニオン 新小松支部
	小さなヒヤリも みんなで共有 隠さぬ風土が 職場を守る	河内山 善雄さん	イオンリテールワークスユニオン 防府支部
	ためないで 心と体の 小さなサイン	田中 英二さん	ソラストユニオン
	「これいいの?」小さな疑問を置き去りに させない風土が明日を救う	宇佐美 宙樹さん	日東紡績労働組合
	あそこ片付けたよ!ありがとう! 笑顔が増えれば 仕事も進む	濱田 武史さん	宇都宮製作労働組合
	「少し休もう」言える雰囲気 守られる現場	布施谷 俊太さん	ダイワボウ労働組合 播磨支部
	「たまたま」を「実力」と勘違いするな 安全は運任せではない	米田 哲也さん	日清紡績労働組合 徳島支部

2027年度 あなたの職場の安全衛生フォトコンテスト

職場における安全と衛生に関する取り組みを写真にすることで見える化し、職場における安全風土の構築に寄与することを目指してフォトコンテストを開催いたしました。2回目となる本年も多くの加盟組合の皆様にご応募いただきました。ありがとうございました。



『わずかな段差もヘルメット着用。安全対策コシ!』

ほんの数センチの段差こそが、転倒を引き起こす危険なポイント。ヘルメット着用で物理的対策と危険作業中という心理的アプローチの両輪で安全対策をしています。

大垣扶桑紡績労働組合
長谷川 理恵 さん



『安全第一!冷静な運転を!』

運転する車の扉側に貼り付けて常に安全を第一に!冷静な運転をして事故ゼロを目指しています。

公益社労働組合
堀上 峰雄 さん



『アイシングシェルターの電源を切らない!』

熱中症対策として、暑さによる不調を感じたらすぐに入ろう!

倉敷紡績労働組合 寝屋川支部
平野 祐司 さん



『計画停電作業前のKYT』

故障箇所によっては広範囲に渡り多大な影響・損害を与えてしまうことから、このような事故を未然に防ぐ予防保全として約50名の作業員と共に実施。全体朝礼後、各作業にあたり、停電前準備、作業中の安全管理、点検終了後の送電前確認等、感電事故防止と合わせて無事点検後、受電できるよう各作業班に分かれ作業前KYTを実施しています。

日医工岐阜工場労働組合
川端 将也 さん